



マーケット・レポート

## Weekly Guide 2026.01.19

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご覧いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、海外では底堅い景気指標と企業決算を受け株式・債券共にもみ合い、国内では解散・総選挙の報道を受け株高・債券安となりました。週間では、NYダウ▲0.3%、ナスダック総合指数▲0.7%、独DAX指数+0.1%、日経平均株価は+3.8%。10年国債利回りは米国が前週末比+6bpの4.22%、ドイツは同▲3bpの2.84%、日本は同+9bpの2.19%と27年ぶりの水準まで上昇しました。ドル円は1年半ぶりに159円台を付ける場面がありましたが、その後は為替介入への警戒から158円台を中心に推移しました。

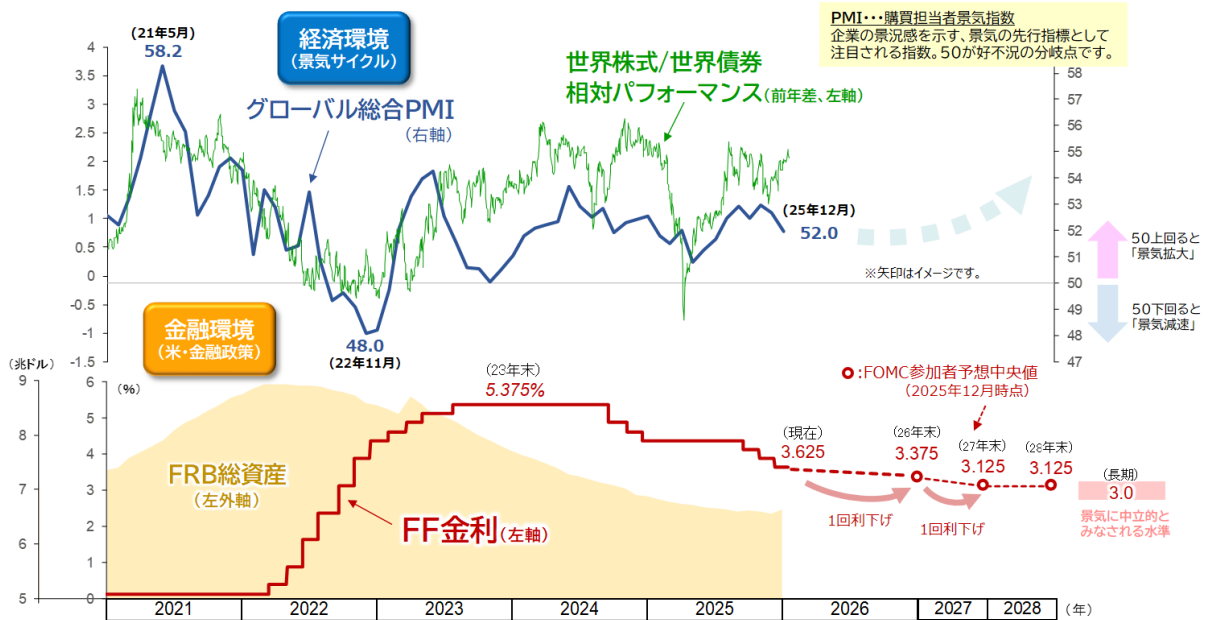
今週、国内では日銀・金融政策決定会合が開催されます。12月会合で0.75%への利上げが決定されており、今回は据え置きが確実視されます。23日招集の通常国会冒頭では衆議院が解散され、選挙戦が事実上始まります。食料品の消費税率を時限的にゼロとする案が政権内で浮上との報道があり、国内債・円相場の動きは要注視です。

## 当面の注目イベント

- ◆中・10-12月期GDP (19日)
  - ◆米・11月コアPCEデフレーター (22日)
  - ◆日・日銀金融政策決定会合 (22・23日)
  - ◆日・米・欧 総合PMI 1月速報値 (23日)
  - ◆日・12月全国コアCPI (23日)
  - ◆日・通常国会召集(冒頭衆院解散の見通し) (23日)
- ～日・米主要企業10-12月決算発表～  
ネットフリックス(20日)、ディスコ、J&J(21日)、インテル(22日)

★：りそな景気先行指数関連指標

2026年は、景気先行指標のグローバル総合PMIが好不況の分岐点となる50を上回り続け、米国の利下げ継続で金融環境の緩和が見込まれることから、株式などの成長資産にとって追い風の投資環境が続く見通しです



【出所】ブルームバーグ、Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

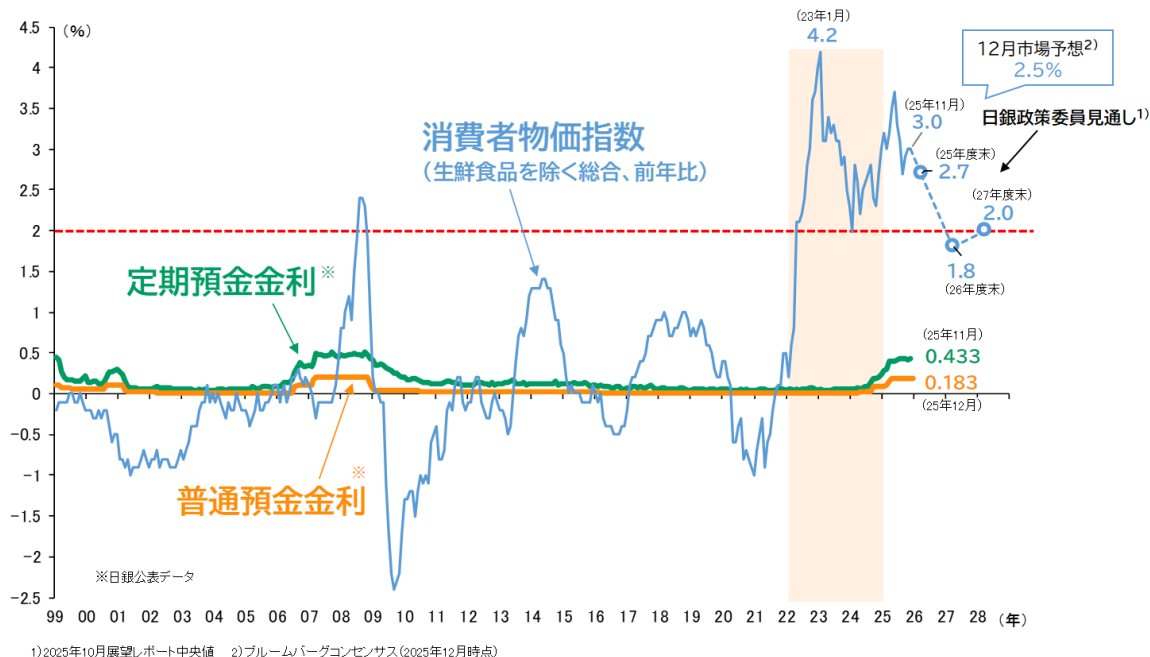
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



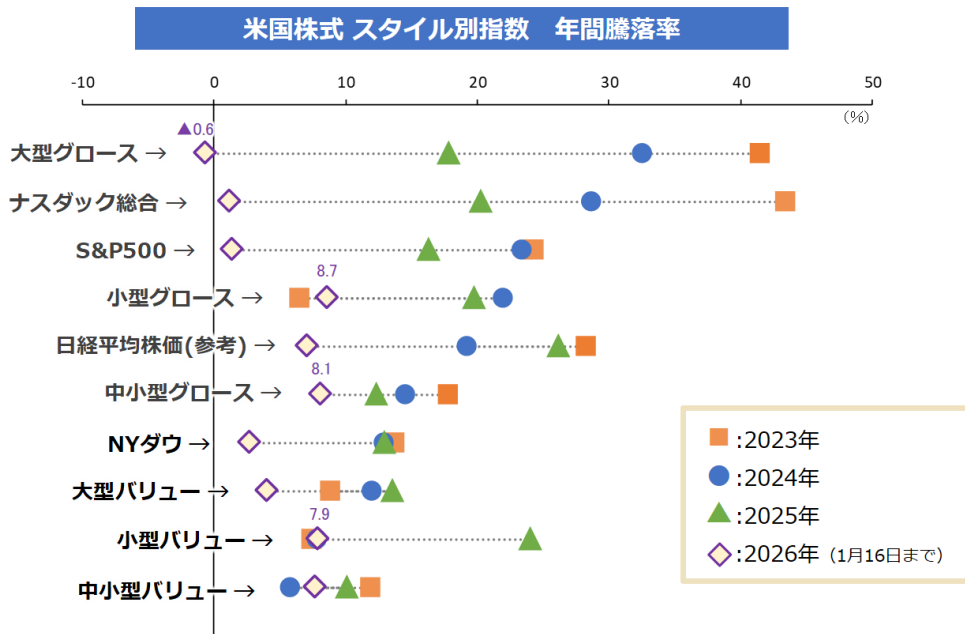
りそなアセットマネジメント

RESONA

23日発表の12月コアCPIは前年比+2.5%と前月の+3.0%から低下することが予想されています。昨年高騰した食料品の前年比伸び率の鈍化や、エネルギー補助金による押し下げ効果が主な要因です。



年初来の米国株市場の物色動向を見ると、大型グロース株がマイナスにとどまる一方、中小型株の好調が目立ちます。割高感が残る大型成長株から、割安な中小型株へ投資資金が移動している様子がうかがえます



【出所】ブルームバーク等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年1月26日 発行予定です

#### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。